北海道奥尻高等学校

校長　清　水　信　彦

児童数　　７８名

学級数　　３学級

職員数　　２０名

－地域の教育資源を最大限活用した創意工夫ある教育活動－

平成28年度に町立移管して以来、「進路目標の実現に向けた学習や諸活動に積極的に取り組み、高校生活を充実させる強い意志と行動力を持った生徒」の育成を目指し、島の豊かな自然や人材等、地域の教育資源を最大限活用した創意工夫ある教育活動に取り組んでいる。

特に、持続可能な社会づくりの主体者を育成する「まなびじま奥尻プロジェクト」における取組など、地域創生の活性化に大きな成果を上げている。

ー「奥尻島」にある教育資源を最大限に活かした教育活動「町おこしワークショップ」ー

本活動は「総合的な探究の時間」の「町おこしワークショップ」における取組である。様々な分野の地域人材を活用し、意見を取り入れ、当事者として地域課題を考え、解決に向けて何ができるか具体的に発案するなど、精力的に活動している。

特に、地域創生の主体者としての考え方と態度が身に付いたことで、新しいことに対して臆せず挑戦することができる人材の育成に大きな成果を上げている。

ーキャリア教育の充実に向けた「Wi-Fiニーネー」ー

本活動は生徒の自主的な進路活動の一つである。大学でのオープンキャンパスに参加したり、島外の大学生から直接話を聞いたりすることが難しい環境を逆手にとり、奥尻島でもできる取組の「Ｗｉ-Ｆｉニーネー」を考え、島外の大学生等と積極的にオンラインを活用した学習や進路の相談を実施している。

オンラインを活用した教育活動で、本島と変わらない環境が提供でき、奥尻で学ぶ「価値」が創出され、大きな成果を上げている。

ー学校の特色ある教育活動から生まれる地域・家庭との連携ー

「町おこしワークショップ」「スクーバダイビング」など地域や自然を学び、活性化させる活動だけではなく、「Wi-Fiニーネー」など島外の大学生等に学習や進路を相談できる仕組みもあり、あらゆる連携によって教育活動が充実しています。

今後も特色ある教育活動を通して、地域や家庭との繋がりをより一層強めていき、「持続可能な社会づくりの主体者」の育成を目指す取組に期待しています。（保護者の声）